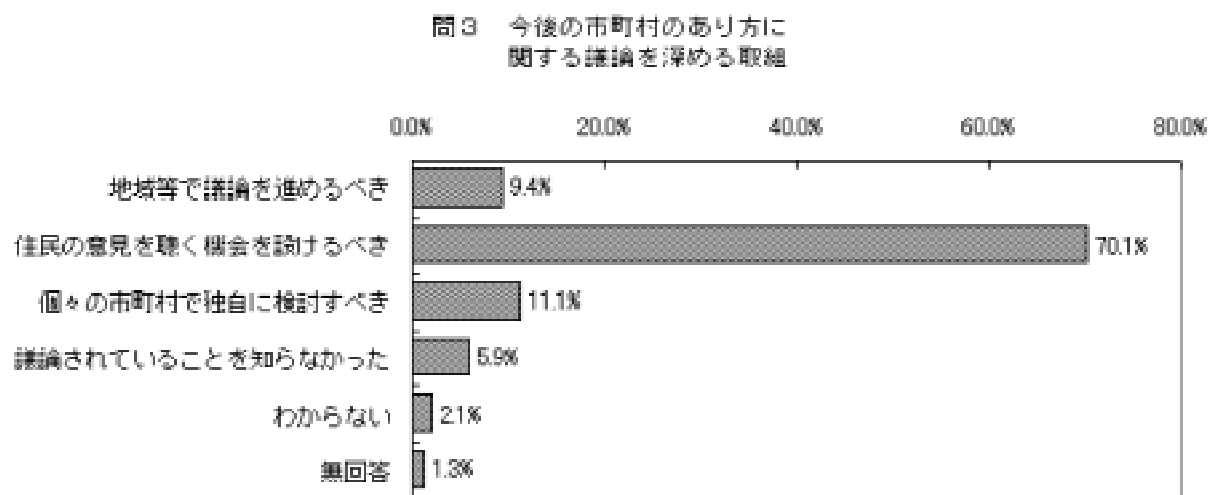


■ 市町村合併について

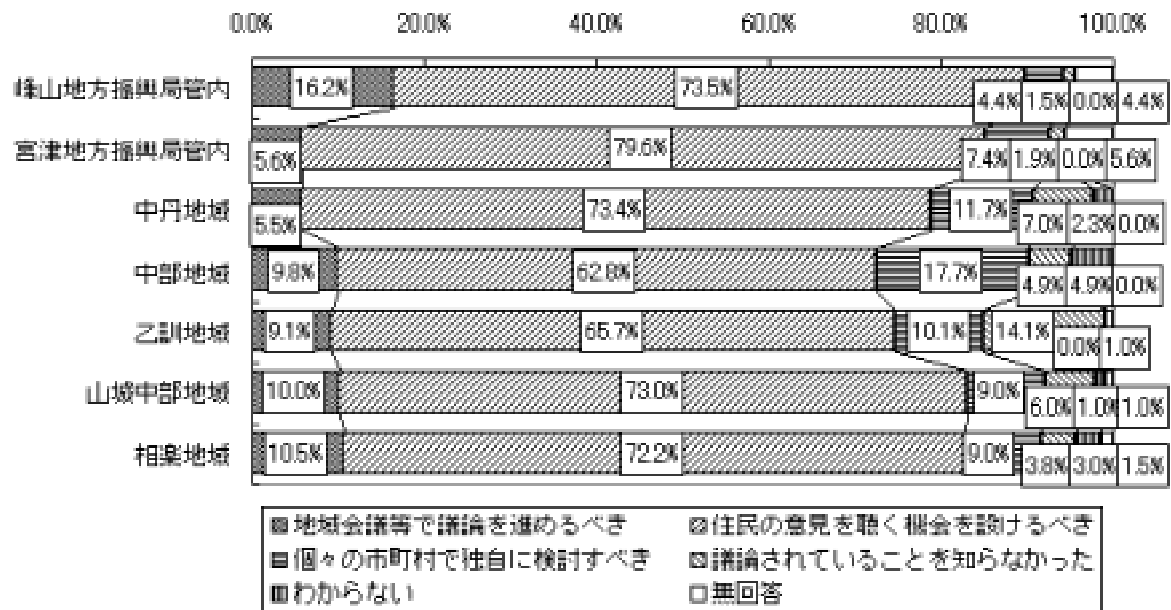
問3 現在、府内の4地域において、行政改革推進地域会議が設置されるなど、市町村が共同で行政改革や市町村合併など今後の市町村行財政のあり方に関する議論を深める取組が進められています。このことについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

市町村の行財政のあり方に関する議論を深める取組についてたずねたところ、「住民の意見を聴く機会を設けるべき」(70.1%)が、府民意識調査と同様に最も多い結果となっている。住民の参画のもとに行政改革や市町村合併の議論を進めることの必要性が指摘されているといえる。



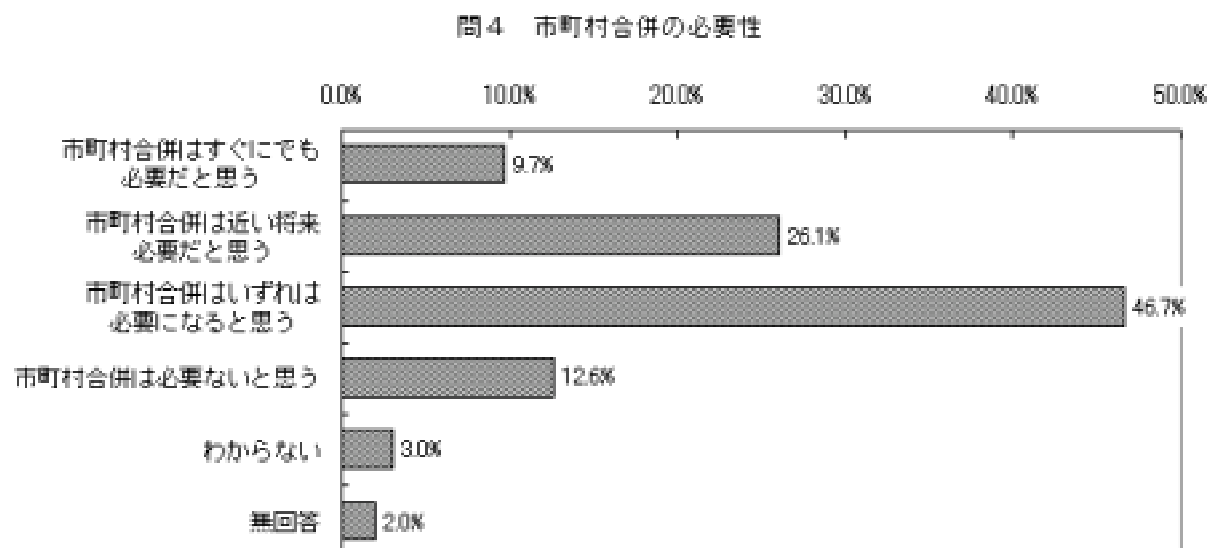
地域別にみると、いずれの地域でも「住民の意見を聴く機会を設けるべき」が最も多く、「中部地域」と「乙訓地域」を除く地域では70%以上を占めている。また、「議論されていることを知らなかった」が「乙訓地域」では14.1%と、他の地域に比べて比率がやや高い。

問3 地域別 今後の市町村のあり方に
関する議論を深める取組



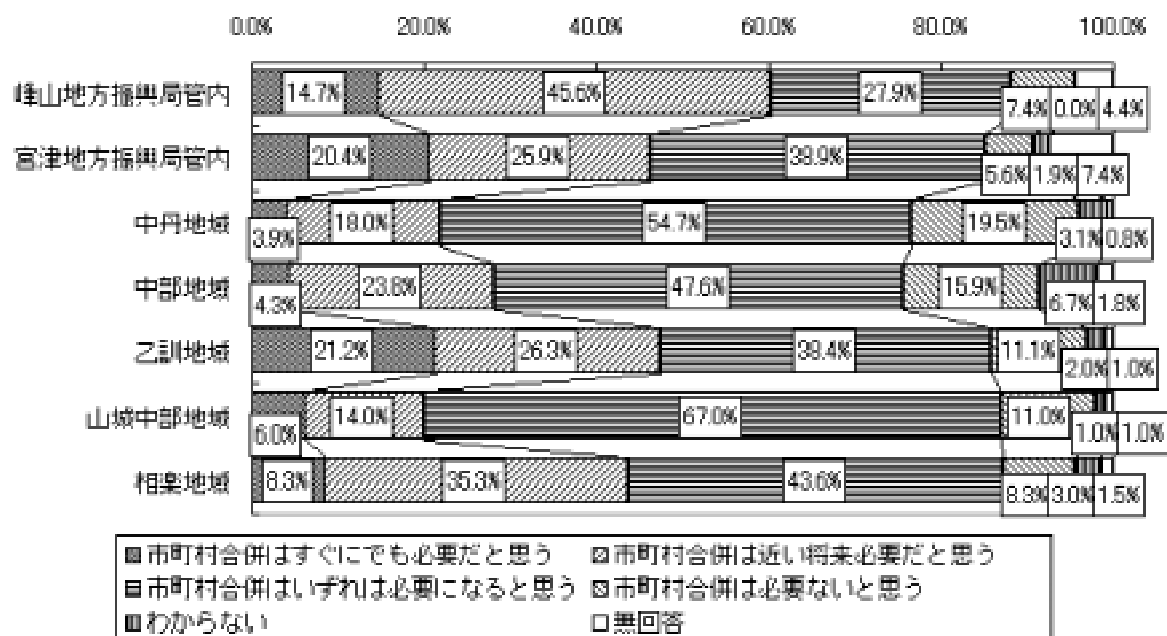
問 4 ここ数年、「市町村の自主的な地域づくりのためには、その行財政基盤を強化することが必要不可欠であり、市町村合併が必要ではないか」という議論が行われています。このことについて、あなたは、団体等での仕事・取組で関わりのある市町村において、合併を進める必要があると思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

各種団体関係者が仕事や取組で関わりのある市町村の合併の必要性についてたずねたところ、「市町村合併はいずれは必要になると思う」(46.7%)が最も多く、これに「市町村合併は近い将来必要だと思う」(26.1%)、「市町村合併はすぐにでも必要だと思う」(9.7%)をあわせた「市町村合併は必要だと思う」が82.5%を占めており、「市町村合併は必要ないと思う」(12.6%)を圧倒的に上回っている。



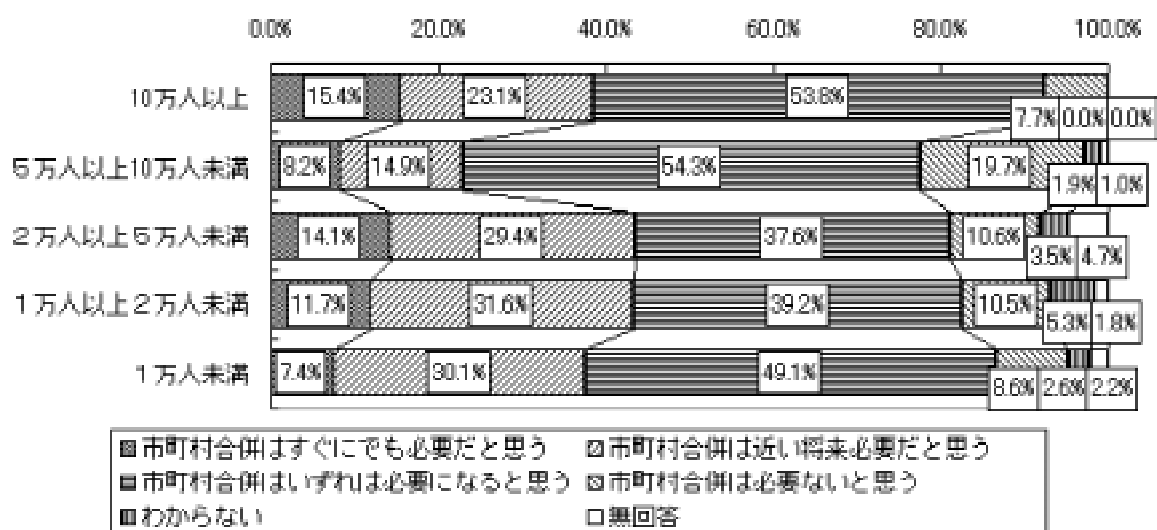
地域別にみると、「市町村合併は近い将来必要だと思う」が「峰山地方振興局管内」では最も多く、他の地域では「市町村合併はいずれは必要になると思う」が最も多い。一方、「市町村合併は必要ないと思う」が「中丹地域」では他の地域に比べて比率が若干高い。

問4 地域別 市町村合併の必要性



人口規模別にみると、「5万人以上10万人未満」の市町村で「市町村合併は必要ないと思う」が19.7%と、他の人口規模に比べて高い結果となっている。

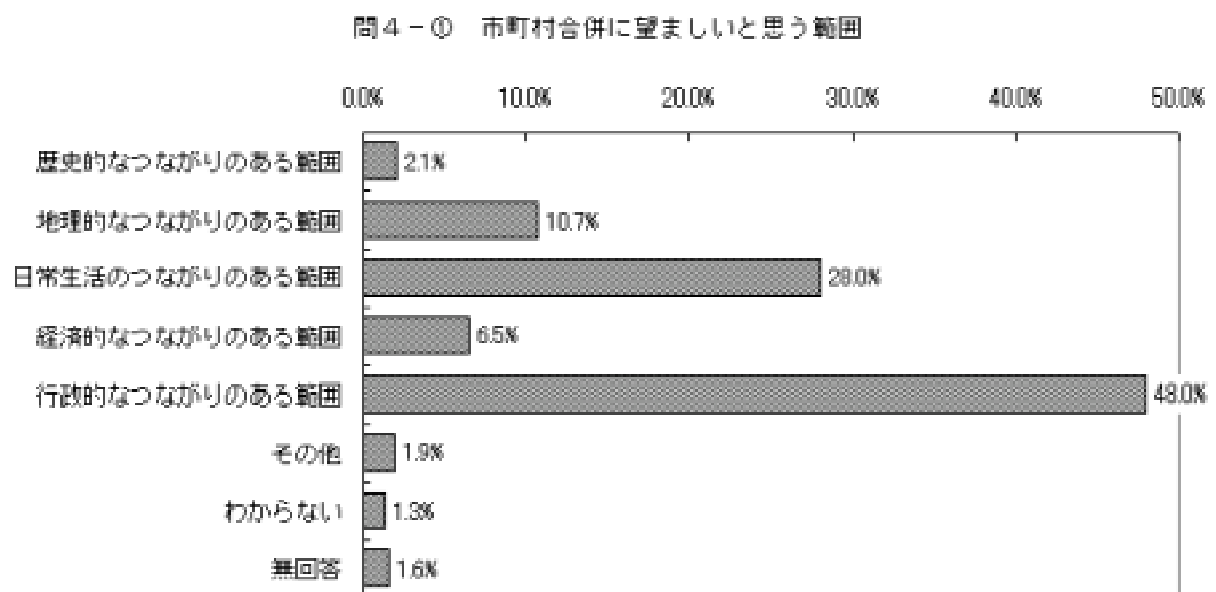
問4 人口規模別 市町村合併の必要性



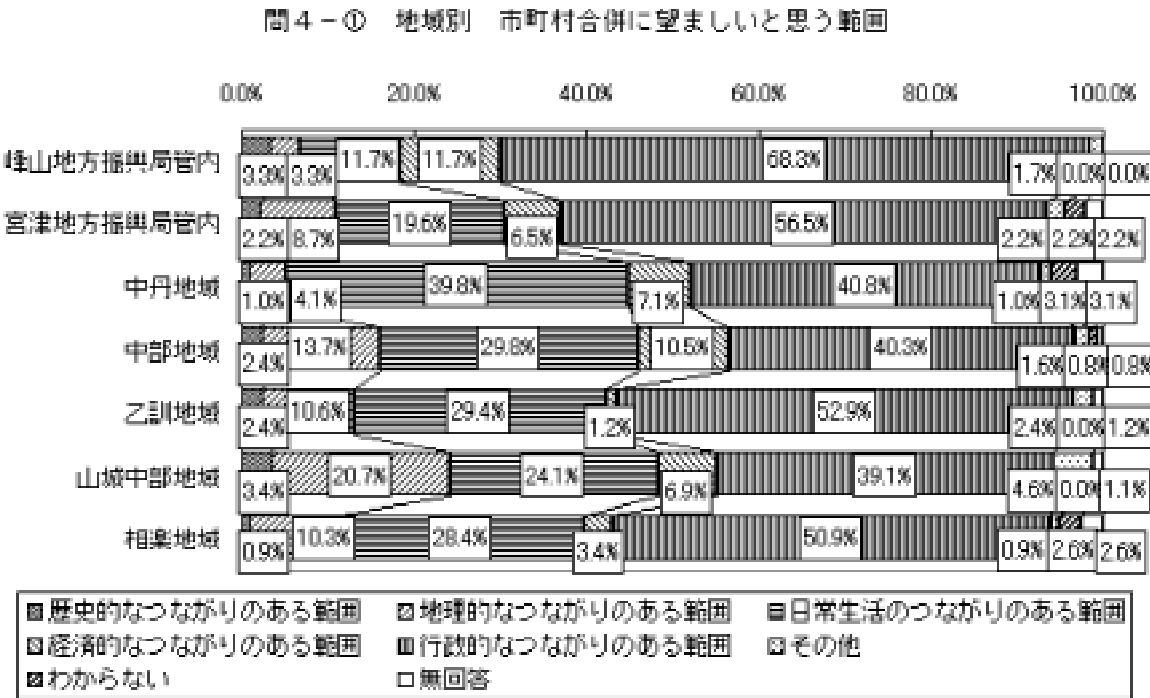
* 平成12年国勢調査に基づく人口区分

問 4 - あなたが団体等での仕事・取組で関わりのある市町村が合併を進める場合、どのような範囲が望ましいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

問 4 で市町村合併は必要だとした方に対し、市町村合併で望ましいと思う範囲についてたずねたところ、「行政的なつながりのある範囲」(48.0%) が最も多く、次いで「日常生活のつながりのある範囲」(28.0%) となっている。



地域別にみると、「峰山地方振興局管内」では「行政的なつながりのある範囲」が他の地域に比べて比率が高く、また、「中丹地域」では「行政的なつながりのある範囲」と「日常生活のつながりのある範囲」が拮抗している。



問 4 - あなたが団体等での仕事・取組に関わりのある市町村が合併を進める場合、具体的にどの市町村と合併を検討すべきだと思いますか。回答欄にお考えをご記入ください。

同じく、問 4 で市町村合併は必要だとした方に対し、市町村合併の際の具体的な合併の組み合わせについてたずねた結果を、「市町村の組み合わせ試案」と対比しながら、「北部地域（丹後地域・中丹地域）」「中部地域」「南部地域（南部地域・相楽地域）」の 3 つの地域ごとに集計した。なお、具体的な市町村や地域が特定できないものについては、集計から除外した。

（ 1 ）北部地域（丹後地域・中丹地域）

丹後地域では、峰山地方振興局管内の 6 町の組み合わせが最も多く、以下、宮津地方振興局管内の 1 市 4 町、丹後地域全体 1 市 10 町の組み合わせと続く。

次に中丹地域では、福知山市と天田郡および加佐郡での 1 市 3 町での合併の組み合わせが多く、これ以外の組み合わせは数件にとどまっている。

（ 2 ）中部地域

中部地域では、船井郡全体での合併の組み合わせが最も多く、以下、丹波町・瑞穂町・和知町の組み合わせ、亀岡市を除く中部地域全体の合併の組み合わせと続く。

（ 3 ）南部地域（南部地域・相楽地域）

南部地域では、乙訓地域 2 市 1 町の合併の組み合わせが最も多い。

また、相楽地域では、相楽郡全体での合併の組み合わせが最も多い。

次ページ以降の表における「組み合わせ試案」とは、平成 13 年 3 月に京都府、京都府市長会および京都府町村会が公表した「これからの市町村のあり方について」で示された「市町村の組み合わせ試案」を指す。

「その他」とは、「組み合わせ試案」以外で、回答のあった組み合わせのうち、5 件以上の回答があったものを回答数の多いものから記載した。

(1) 北部地域 (丹後地域・中丹地域)

		回答者の市町村																	本調査での 回答数合計	
		丹後地域										中丹地域								
		与謝郡					中郡		竹野郡			熊野郡 久美浜町				天田郡		加佐郡		
		宮津市	加悦町	岩滝町	伊根町	野田川町	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町		福知山市	舞鶴市	綾部市	三和町	夜久野町	大江町		
組み合わせ試案の 回答件数	加悦町・野田川町			1			1													2
	宮津市・岩滝町・伊根町																			0
	宮津市・加悦町・岩滝町・伊根町・ 野田川町		12	4	3	2	4													25
	網野町・丹後町・弥栄町																			0
	峰山町・大宮町・網野町・丹後町・ 弥栄町・久美浜町							5	5	13	6	11	3							43
	宮津市・加悦町・岩滝町・伊根町・ 野田川町・峰山町・大宮町・網野町・ 丹後町・弥栄町・久美浜町		2	1	1	2	1		2	1	1	1								12
	福知山市・三和町・夜久野町・大江町													10			4	9	3	26
	福知山市・綾部市・三和町・夜久野町・ 大江町													3		2		1		6
	峰山町・大宮町・久美浜町																			0
	舞鶴市・綾部市														2					2
舞鶴市・大江町														1					1	
その他	福知山市・舞鶴市・綾部市・三和町・ 夜久野町・大江町													1	2	4				7

(2) 中部地域

		回答者の市町村										
		中部地域								本調査での 回答数		
		北桑田郡			船井郡							
		亀岡市	京北町	美山町	園部町	八木町	丹波町	日吉町	瑞穂町		和知町	
組み合わせ試案の回答件数	園部町・八木町・日吉町					2			1			3
	丹波町・瑞穂町・和知町							4		4	2	10
	京北町・美山町											0
	園部町・八木町・丹波町・日吉町・ 瑞穂町・和知町					7	1	1	1	4	1	15
	京北町・美山町・園部町・八木町・ 丹波町・日吉町・瑞穂町・和知町					2	2	1	1	2	1	9
	亀岡市・園部町・八木町・日吉町											0
その他の回答件数	京北町・京都市			7								7
	亀岡市・京北町・美山町・園部町・ 八木町・丹波町・日吉町・瑞穂町・和知町		1			2	1	1			1	6
	亀岡市・園部町・八木町					1	4					5

(3) 南部地域 (南部地域・相楽地域)

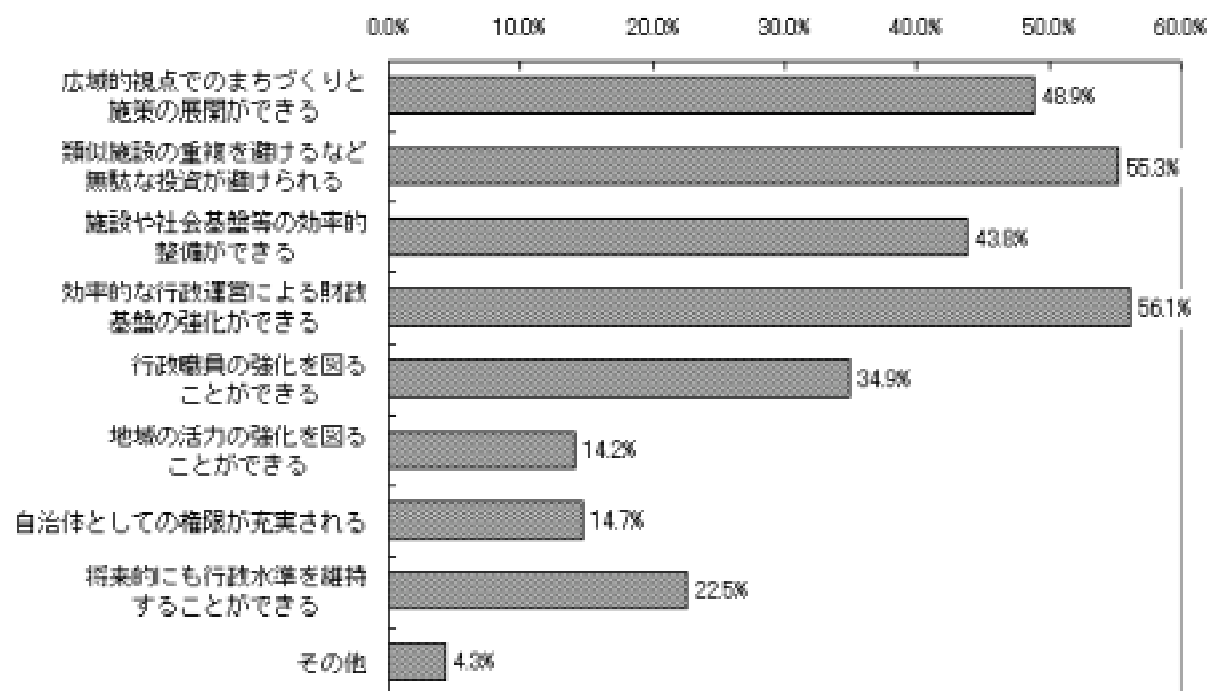
		回答者の市町村																	本調査での 回答数		
		南部地域										相楽地域									
				乙訓郡			久世郡			綴喜郡		相楽郡									
		向日市	長岡京市	大山崎町	宇治市	城陽市	久御山町	八幡市	京田辺市	井手町	宇治田原町	山城町	木津町	加茂町	笠置町	和束町	精華町	南山城村			
組み合わせ 試案の 回答件数	向日市・長岡京市・大山崎町		5	35	17															57	
	宇治市・城陽市・久御山町・八幡市・京田辺市・井手町・宇治田原町										2									2	
	加茂町・笠置町・和束町・南山城村													2	1					3	
	山城町・木津町・精華町												2	2				10		14	
	山城町・木津町・加茂町・笠置町・和束町・精華町・南山城村												8		8	1	5	3	3	28	
	宇治市・城陽市・久御山町・井手町・宇治田原町																				－
	八幡市・京田辺市								10	2											12
	京田辺市・木津町・精華町									6				2				2			10
城陽市・井手町・宇治田原町・山城町																				0	
その他の 回答件数	長岡京市・大山崎町				8															8	
	木津町・精華町												2				6			8	
	向日市・長岡京市・大山崎町・京都市		1	3	3																7
	宇治市・城陽市・久御山町					4	2	1													7

問 5 市町村合併にあたっては、さまざまな効果と懸念される点があります。

(1) あなたは、団体等での取組で関わりのある市町村が合併を進めることで、期待される効果はどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

市町村合併で期待される効果についてたずねたところ、「効率的な行政運営による財政基盤の強化ができる」(56.1%) が最も多く、次いで「類似施設の重複を避けるなど無駄な投資が避けられる」(55.3%)、「広域的視点でのまちづくりと施策の展開ができる」(48.9%)、「施設や社会基盤等の効率的整備ができる」(43.8%) となっており、財政基盤の充実・強化、効率的・効果的な行財政運営に向けた取組に対する期待が高いことがわかる。

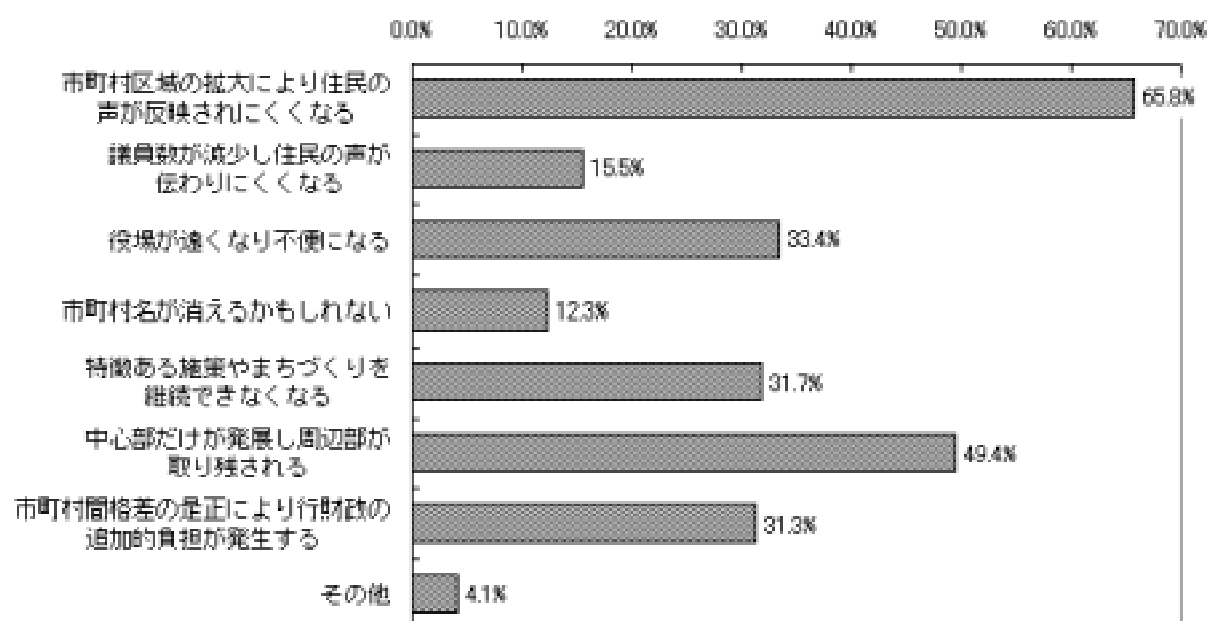
問 5 (1) 市町村合併で期待される効果



(2) あなたは、現在お住まいの市町村が合併を進めることで、心配に思うことはどのようなことですか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

市町村合併で懸念される事項についてたずねたところ、「市町村区域の拡大により住民の声が反映されにくくなる」(65.8%) が最も多く、次いで「中心部だけが発展し周辺部が取り残される」(49.4%)、「役場が遠くなり不便になる」(33.4%) となっている。

問5(2) 市町村合併で懸念される事項



(3) 前問「問 5 (2)」でお答えいただいた「市町村合併で懸念される事項」の解消に向けて、あなたは、どのような条件整備や対応策、支援措置などが必要だとお考えですか。回答欄にお考えをご記入ください。

問 5 (2) で回答された結果に沿って、「市町村区域の拡大により住民の声が反映されにくくなる」(全体 65.8%。以下同じ)、「中心部だけが発展し周辺部が取り残される」(49.4%)、「役場が遠くなり不便になる」(33.4%)、「特徴ある施策やまちづくりを継続できなくなる」(31.7%)といった項目に対する対応策等があげられている。

とくに多くみられるのが、合併前の市町村の個性や地域の特徴を生かした新たなビジョンに基づくまちづくりの推進、特徴あるまちづくりや施策の継承である。合併後も旧来のまちづくり等の「よいところ」を生かした新しいまちづくり等を進めることの重要性が指摘されている。

次いで、住民の意向や地域の実態を十分に反映した議論を進めるため、行政から積極的に市町村合併に関する情報を提供したり、懇談会等広聴の場を設けるなど、住民に対する情報の提供と議論への参画を進めることの重要性が指摘されている。

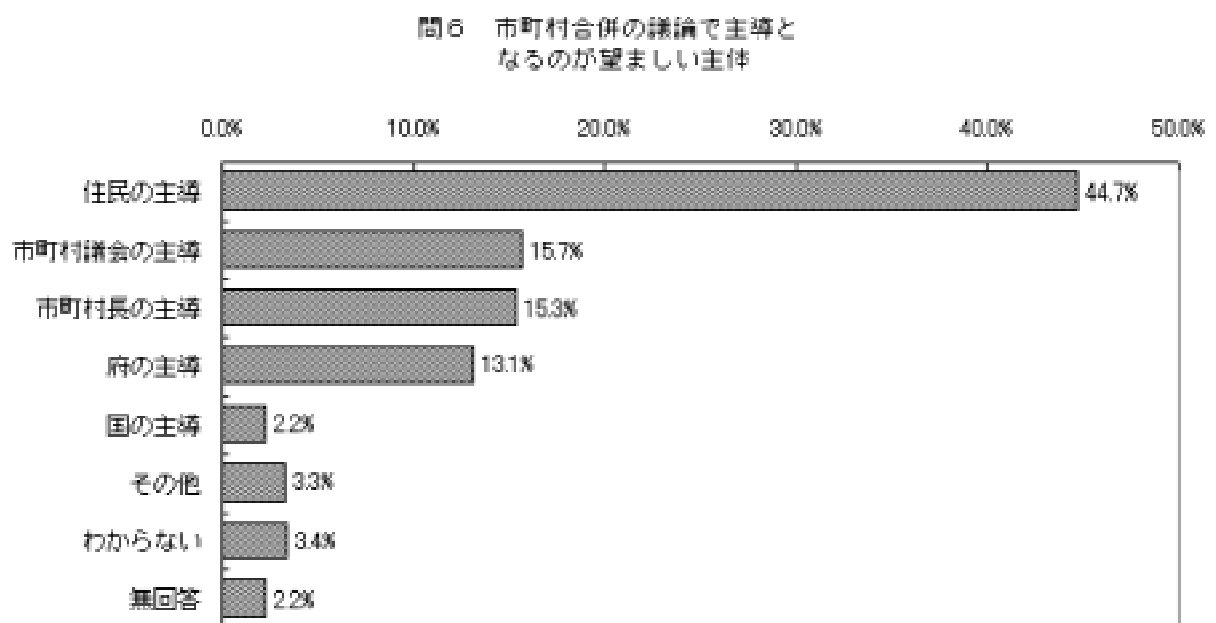
また、合併にともなう広域化に対応するため、道路網の整備や市町村役場の出張所の設置、IT を活用した電子自治体の実現など、地域間格差やサービス格差を是正する取組の必要性も指摘されている。

さらに、適正な行政規模の実現と行政職員および議員の質的向上を図り、より地域に目を向け、行政と地域との密接な関係づくりの必要性についても指摘されている。

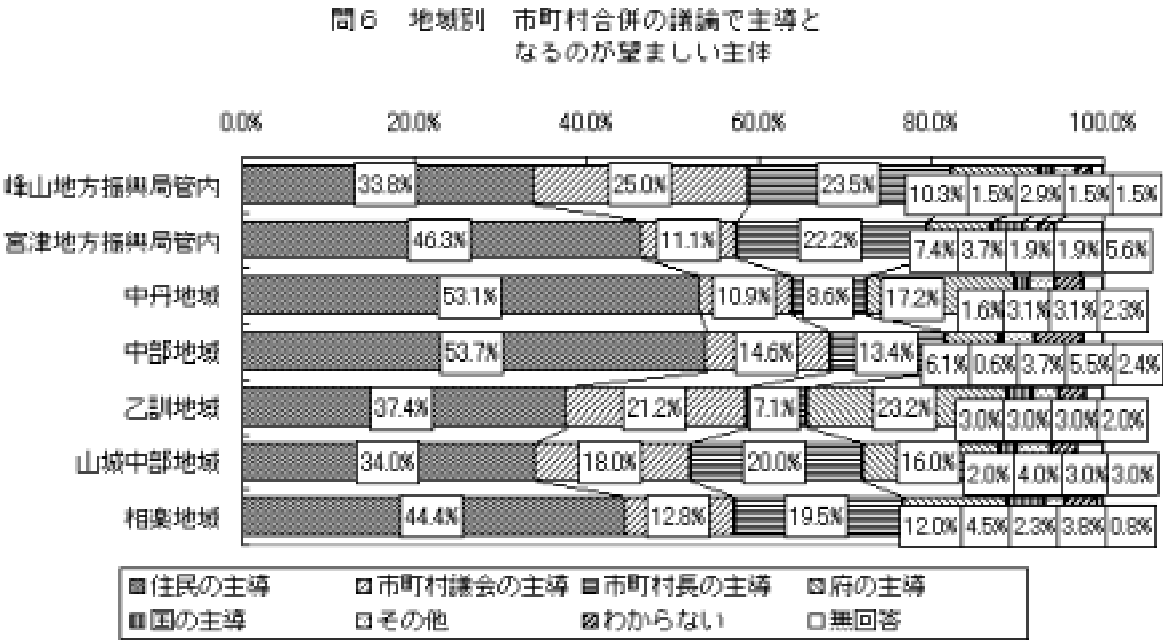
こうした取組のために、住民と行政とが活発に議論を行い理解しあうことの重要性、行政が一定のリーダーシップを担うことの必要性、国・府からの必要に応じた財政支援の必要性などについても意見が出されている。

問 6 今後、市町村合併を検討するという場合に、あなたは、誰が主導となつて行つたのが望ましいとお考えですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

市町村合併を検討する場合に誰が主導となつて進めるのが望ましいかをたずねたところ、「住民の主導」(44.7%)が最も多く、次いで「市町村議会の主導」(15.7%)「市町村長の主導」(15.3%)、「府の主導」(13.1%)となっている。住民の主導で当該市町村が主体的に検討等を進めることが望ましいと考えられており、「国の主導」は2.2%に過ぎない結果となっている。



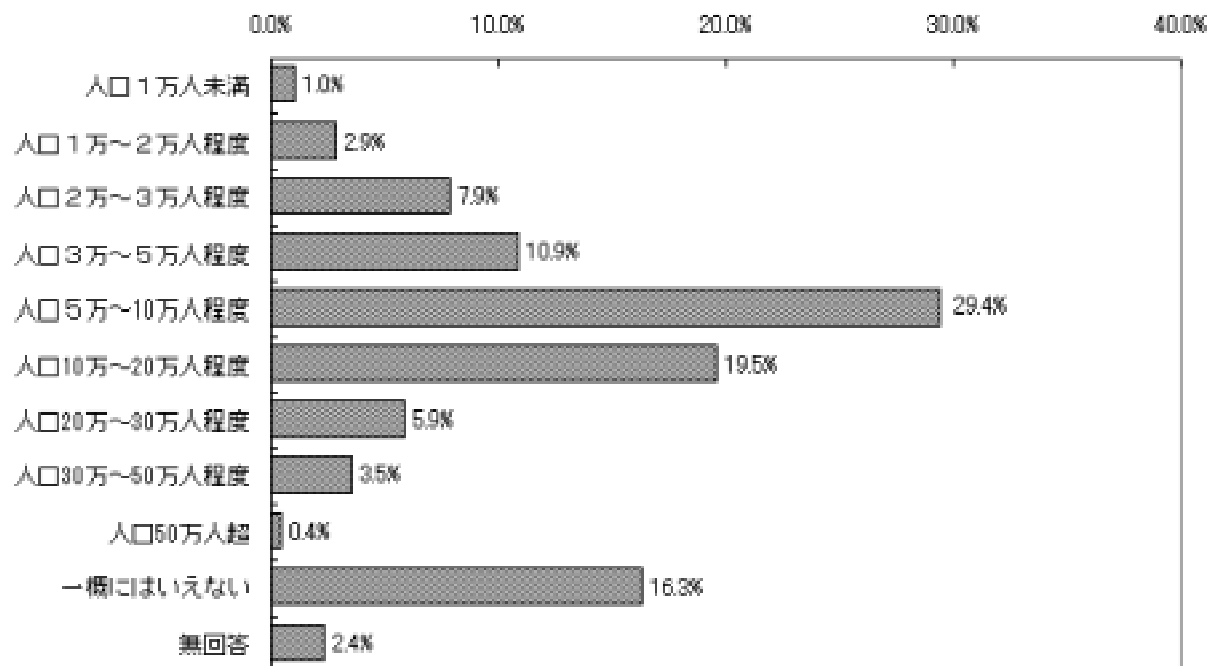
地域別にみると、「住民の主導」が「中丹地域」「中部地域」では過半数を占め、他の地域に比べて比率が高い。また、「市町村議会の主導」が「峰山地方振興局管内」「乙訓地域」において、「市町村長の主導」が「峰山・宮津地方振興局管内」「山城中部地域」「相楽地域」において、他の地域に比べて比率が高い。



問7 あなたは、今後の市町村は、人口規模でどの程度の規模が適当だとお考えですか。
あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

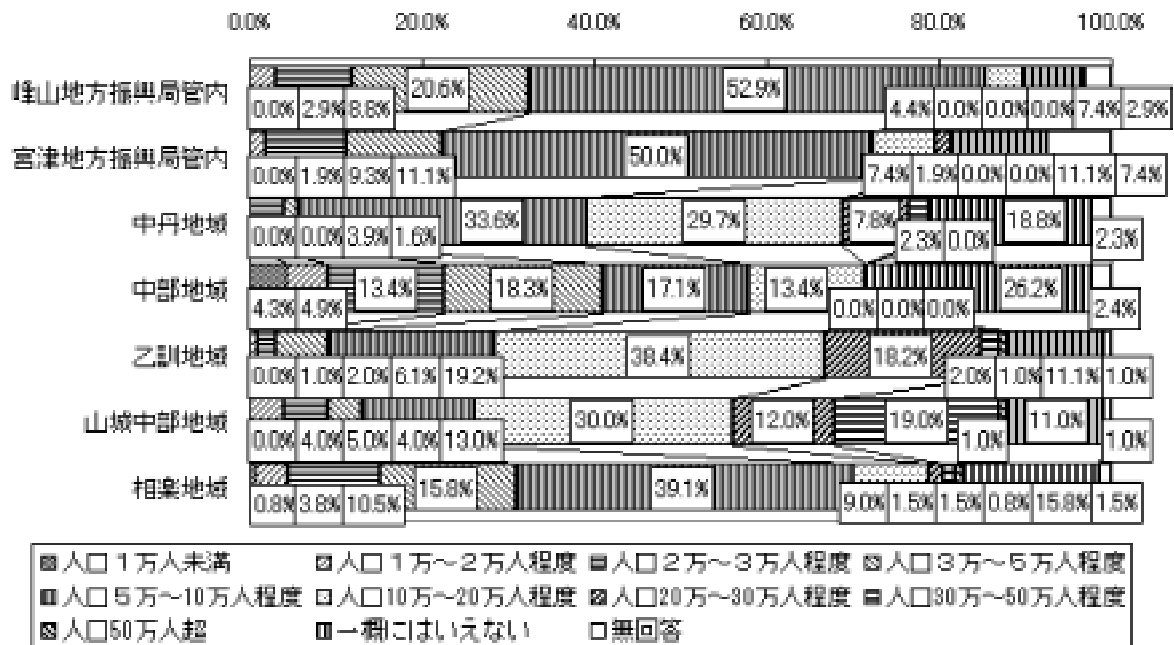
今後の市町村の望ましい人口規模についてたずねたところ、「人口5万～10万人」（29.4%）が最も多く、次いで「人口10万～20万人」（19.5%）、「人口3万～5万人」（10.9%）となっているが、一方で、「一概にはいえない」が16.3%ある。

問7 今後適当だと考えられる人口規模



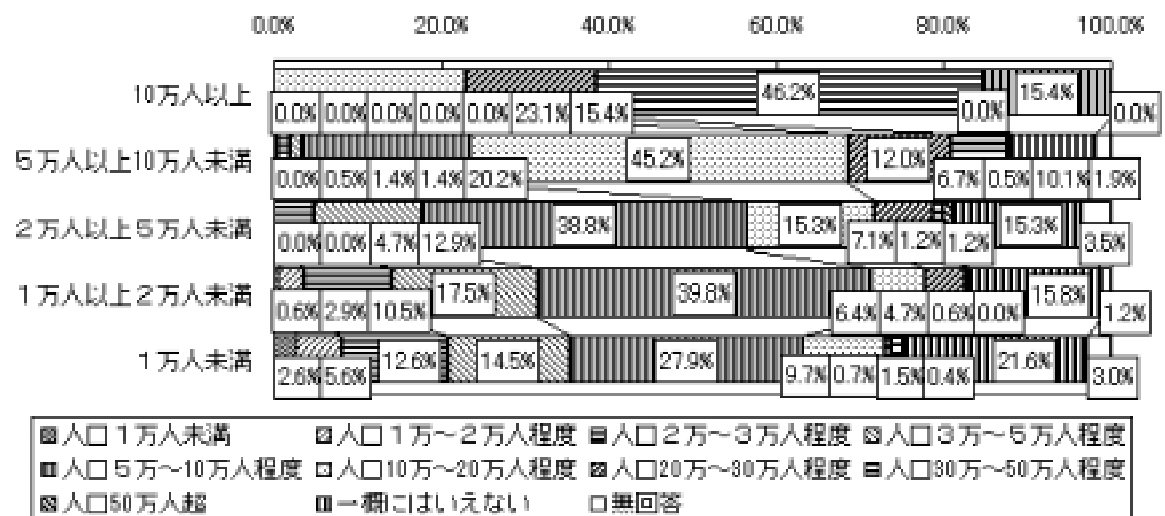
地域別にみると、「中部地域」では「人口3万～5万人程度」、「乙訓地域」「山城中部地域」では「人口10万～20万人程度」が最も多く、他の地域では「人口5万～10万人程度」が最も多い。

問7 地域別 今後適当だと考えられる人口規模



人口規模別にみると、人口10万人以上の市では「人口30万～50万人程度」、人口5万人以上の市では、「人口10万～20万人程度」が最も多い。また、人口5万人未満の市町村では「人口5万～10万人程度」が最も多い。

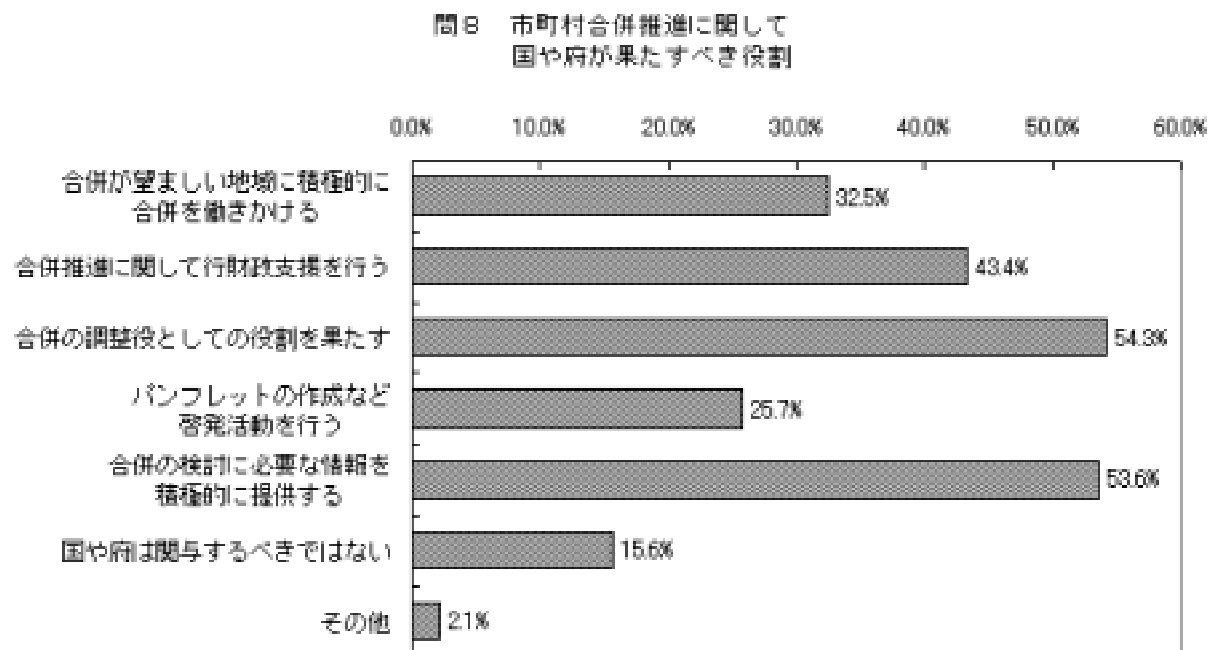
問7 人口規模別 今後適当だと考えられる人口規模



* 平成12年国勢調査に基づく人口区分

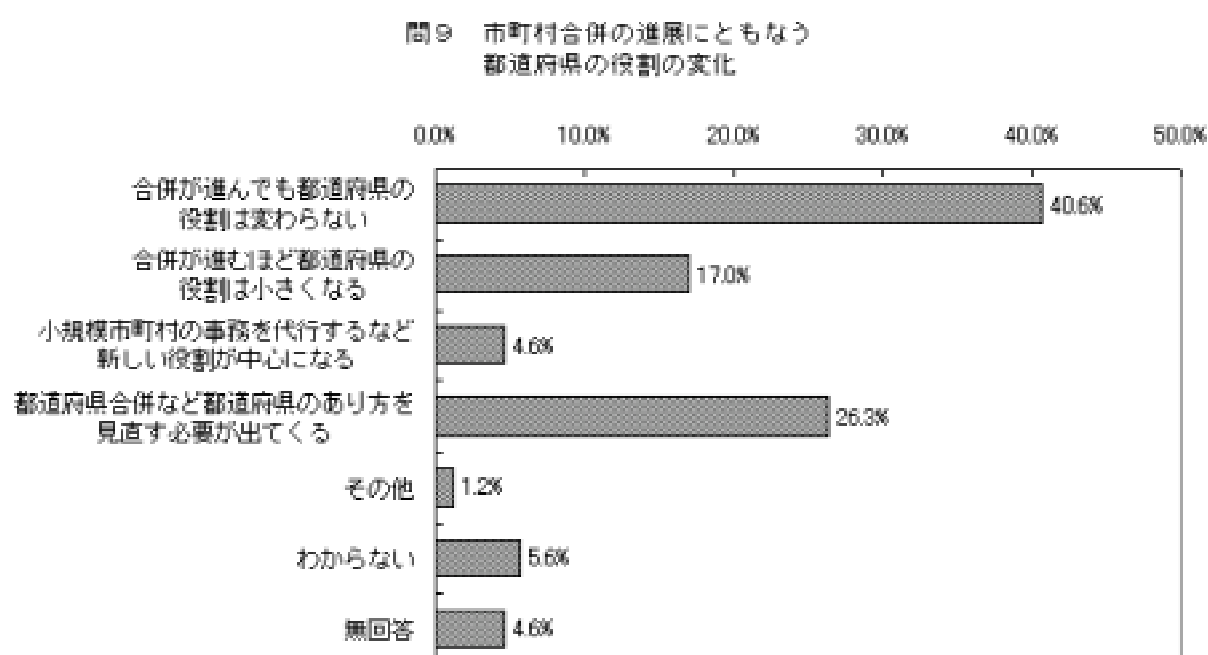
問 8 あなたは、市町村合併の推進に関して、国や府はどのような役割を果たすべきだと思いますか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

市町村合併の推進にあたり、国や都道府県の果たすべき役割についてたずねたところ、「合併の調整役としての役割を果たす」(54.3%)が最も多く、次いで「合併の検討に必要な情報を積極的に提供する」(53.6%)、「合併推進に関して行財政支援を行う」(43.4%)となっており、合併を働きかけるよりも合併議論を支援する立場での役割を担うべきだとの考えが表れている。



問 9 あなたは、今後、市町村合併が進展した場合、都道府県の役割はどのようなものになると思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

市町村合併が進展した場合、都道府県が担う役割がどのように変化するかをたずねたところ、「合併が進んでも都道府県の役割は変わらない」(40.6%)が最も多い一方、「都道府県合併など都道府県のあり方を見直す必要が出てくる」(26.3%)、「合併が進むほど都道府県の役割は小さくなる」(17.0%)など、都道府県の位置づけや役割が変化するという考えも比較的多い。



地域別にみると、「合併が進んでも都道府県の役割は変わらない」がいずれの地域においても最も多く、とくに「峰山地方振興局管内」では50%を超え、他の地域に比べて比率が高い。また、「都道府県合併など都道府県のあり方を見直す必要が出てくる」とする意見もすべての地域で20%以上を占めている。

